

第90期 株主通信

2013年1月1日から2013年12月31日まで

サッポロホールディングス株式会社



SAPPORO



次なる長期目標策定を見据えて

2013年の通期決算は、年初に掲げた計画を達成し、売上は4期連続の増収、営業利益と経常利益は2期ぶりの増益を果たすことができました。

しかし、2016年をゴールとして掲げた経営目標の達成には、なお一層の飛躍が必要であり、2014年-2016年の中期経営計画においては、サッポログループの強みを発揮すべく、さまざまな挑戦を続けてまいります。

また、この3年間で、2017年以降を見据えた取り組みを開始する期間とも位置づけ、「食のメーカー」としての成長を目指し、創業150周年である2026年に向けた長期経営構想策定にも着手してまいります。

株主の皆様には、今後のサッポログループの取り組みにご注目いただくとともに、ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 グループ CEO

上條 努

● ごあいさつ	01	● CSR	13
● トップインタビュー	02	● 事業の概況	14
● 新社長のご紹介	06	● 連結決算概要	15
● サッポログループ トピックス	07	● 会社情報／株主情報	17

世界の人々に必要とされる 「食のメーカー」であり続けるために

Q1 2013年度はどのような1年になったと認識されていますか。

A 各事業会社が新経営構想達成に向けた準備を進めた1年でした。

2013年度は、2016年を目標年と据えた長期経営方針「サッポログループ新経営構想」の計画達成に向けた基盤確立の重要な1年としてスタートしました。各事業会社が次のステップへ踏み出す準備を着実に進めることができたと認識しています。

国内酒類事業では、ビール事業に加え、多層化を推進するワイン・焼酎・洋酒すべてが売上を伸ばし、グループの業績を大きく牽引しました。

国際事業は、安定的に成長している北米と、サッポロブランドの浸透を推し進めているベトナムをはじめとする東南アジアで順調に推移しており、今後グルー

プの成長を担うと期待しています。

食品・飲料事業では、ポッカサッポロフード&ビバレッジが統合会社としてスタートしましたが、飲料部門で特に苦戦し、生みの苦しみを実感しました。しかしながら、夏以降、壁を乗り越え、前進を見せています。昨年失った分を取り戻し、さらに攻めの姿勢に転じるため、1月1日付けで、営業経験が長く、販売戦略の知見を持つ國廣社長が就任し、さらなるブランドの浸透を推し進めています。ポッカコーポレーション・シンガポールでは次なる成長に備え、現在、マレーシアに新工場の建設を進めています。

外食事業では、「銀座ライオン」[YEBISU BAR]といった主力業態の拡大やシンガポールにおけるビヤホール開店など、日本一のビヤホールとしての存在感を高めています。

不動産事業では、本年開業20周年を迎える恵比寿ガーデンプレイスのバリューアップや（仮称）サッポロ恵比寿ビルの再開発に着手し、保有資産の価値向上を進めました。



Q2 新たに策定した「サッポログループ
中期経営計画2014年-2016年」に
ついてお聞かせください。

A 新経営構想達成と同時に、次期長期経営構想も見据えた取り組みにも着手します。

2007年の新経営構想策定時のゴールとした2016年まで、残り3年となりました。この3か年は、「食のメーカー」としての成長を加速させるために、国内酒類などで積極的なブランド強化のための投資も行います。各事業の計画達成実現に加え、グループ一体となった一層のコスト低減、シナジー創出と、新たな提携・M&Aの模索・実現により、当初

から掲げている経営目標の達成を目指します。同時に、創業150周年の2026年に向けた次の長期経営計画へとつなげる準備も進めます。

グループ内では、2014年3月より、グループの研究開発機関を統合、強化します。世界唯一の取り組みであるビール原料の協働契約栽培や乳酸菌研究、発酵技術を応用し実証実験を進めてきた水素発酵技術の活用など、サッポロの独自技術を次の時代を担うイノベーション創出につなげていきたいと考えています。

研究開発機関に留まらず、グループ間の人財交流も推進します。社内では「越境せよ!」と表現していますが、グループ内に関心を持ち、自ら殻を打ち破って壁を乗り越え、前に突き進むことができる多種多様な経験を積める機会を作ることが、経営者が果たす役割の一つだと認識しています。



Q3 2017年以降に描く成長ビジョンについてお聞かせください。

A 世界各地で、お客様の豊かな生活のためになくてはならない企業を目指します。

サッポログループは、創業150周年にあたる2026年に向けた長期経営構想策定のための目指す姿を「サッポログループは、「新しいNo.1」となる商品やサービスの創造と提供を積み重ね、世界各地で、お客様の豊かな生活のためになくてはならない企業になります」と決めました。その実現のためにも、現在掲げている経営目標を達成させ、着実に一歩ずつ、ステップアップしていきたいと考えています。

2026年(創業150年)に向けて グループの目指す姿

サッポログループは、「新しいNo.1」となる商品やサービスの創造と提供を積み重ね、世界各地で、お客様の豊かな生活のためになくてはならない企業になります

Q4 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

A 今後も力強く成長を続けてまいります。

サッポログループは、経営計画に基づき着実に成長の道を歩んでまいりました。主力の国内酒類事業や国際事業が存在感を高め、安定的な収益確保とファン拡大のための空間をご提供できる不動産事業の強みとあわせて、事業の安定度、利益に対する貢献度についてご評価いただけるようになってきているのではないかと認識しています。これからも個々の事業において力強く成長を続けることはもちろん、グループシナジーを発揮して、さらなるステップアップを目指してまいります。株主の皆様におかれましては、「食のメーカー」として独自の成長を遂げる姿にぜひご期待いただくとともに、引き続きご支援・ご愛顧いただけますよう心よりお願い申し上げます。

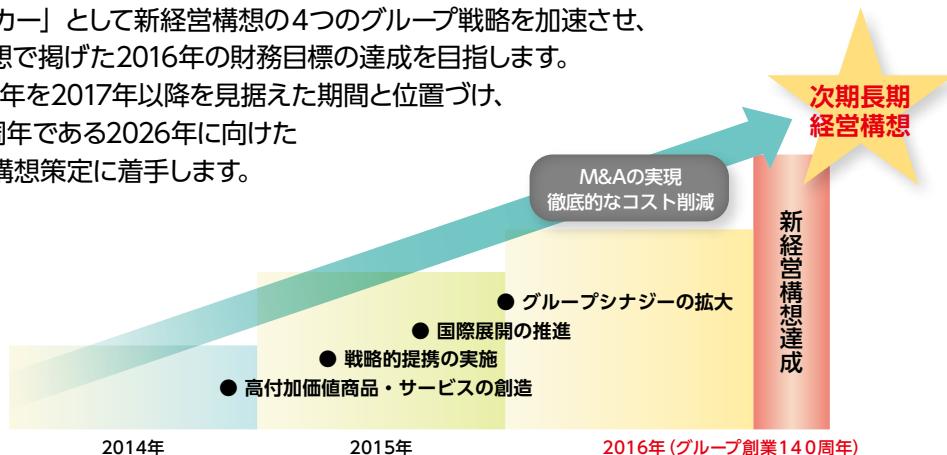


2014年1月7日よりポッカサッポロフード & ビバレッジにて販売開始した Contrex (コントレックス) および Vittel (ヴィッテル)

新中期経営計画

サッポログループ中期経営計画 2014年 -2016年

「食のメーカー」として新経営構想の4つのグループ戦略を加速させ、新経営構想で掲げた2016年の財務目標の達成を目指します。またこの3年を2017年以降を見据えた期間と位置づけ、創業150周年である2026年に向けた長期経営構想策定に着手します。



2014年 -2016年 現事業ベース計画

	2013年実績	中期経営計画			2016年新経営構想
		2014年計画	2015年計画	2016年計画	
連結売上高 ※酒税込	5,098億円	5,377億円	5,630億円	5,950億円	6,000億円
連結営業利益	153億円	150億円	195億円	275億円	—
連結営業利益 (のれん償却前)	193億円	190億円	234億円	312億円	400億円
連結経常利益	151億円	136億円	178億円	257億円	—
連結当期純利益	94億円	50億円	86億円	134億円	—

「中期経営計画2014年-2016年」における現事業ベースの計画の達成に加え、さらは一層のコスト削減・グループシナジーの創出・M&Aを実現することで、「2016年新経営構想」で掲げた財務目標の達成を目指します。

ポッカサッポロフード&ビバレッジ



このたび、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社代表取締役社長に就任した國廣です。

ポッカサッポロが事業を開始して2年目、引き続き厳しい競争環境が予想されますが、これらに立ち向かうべく、経営理念に掲げた「見つける力」「引き出す力」「発想する力」を発揮し、ポッカサッポロらしさを持った付加価値の高い商品開発、さらに個性豊かな営業活動に注力してサッポログループの柱を担う食品・飲料事業を強固なものにしていく所存です。ポッカサッポロにぜひご期待ください。

略歴

- 1979 (昭和 54) 年 4 月 (旧) サッポロビール株式会社 (現サッポロホールディングス株式会社) 入社
- 2012 (平成 24) 年 3 月 (現) サッポロビール株式会社 常務執行役員 広域流通本部長
- 2013 (平成 25) 年 9 月 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 取締役 社長付
- 2014 (平成 26) 年 1 月 同社 代表取締役社長 兼 営業本部長

ポッカサッポロフード & ビバレッジ株式会社
代表取締役社長

國廣 喜和武

「サッポログループネットショップ」オープン!

グループ各社が運営するインターネットショップを集約したショッピングモール「サッポログループネットショップ」を2013年11月にオープンさせました。

IDの共通化やポイント付与などでお客様サービスを強化するとともに、今後はネット通販限定商品や世界に一つだけのオリジナルビールの販売など、魅力的で幅広いラインアップを揃え、付加価値の高い通販サイトの展開を目指します。

「サッポログループネットショップ」 <http://www.sp-mall.jp/>



世界に広がる サッポログループ

ライオンシンガポール店開店



2013年10月、「GINZA LION BEER HALL」海外1号店がシンガポールにオープンし、「珍しい」と注目のブーツグラスが人気を集めるなど、多くのお客様にご来店いただいています。



ポッカ・マレーシア工場7月稼働予定



ポッカコーポレーション・シンガポールは、ペットボトル飲料の生産能力を増強するため、マレーシアにポッカ・マレーシア工場を新たに建設し、7月から稼働する予定です。



ベトナムレポート

ホーチミン市内でのサッポロの認知度は約90%まで高まっています。また、ロンアン工場はISO 9001:2008 認証を正式に取得しました。これからも安全安心の品質とともに、さまざまな販売施策を展開し、サッポロのファンをさらに増やしていけるようがんばります。



Business Strategy Department
Senior Supervisor
Tran Quoc Tuan

アメリカOEM生産開始



スリーマン、サッポロ USA の販売好調を受けて、スリーマンに加えて、新たに米国内でも生産を委託し、生産体制を強化しました。

ポッカシンガポール

シンガポールで37年の歴史を持つ「POKKA」ブランドは市場に浸透しています。18-28歳の若者を対象とした消費動向調査「INFLUENTIAL BRANDS AWARDS 2013」*で非炭酸飲料カテゴリーのトップ1ブランドに選ばれました。

*シンガポール Brand Alliance 社調べ

サッポロビールの発酵技術、国内外へ

日本・ブラジル



非食糧でつくる次世代エネルギー



サッポロビールでは、ビール製造で培った発酵技術を活かし、食品廃棄物や農業残渣（ざんさ）を原料として、次世代のクリーンエネルギーとして注目される「水素」の発酵生産技術開発に取り組んでいます。現在、水素エネルギー利用の実用化に向けたパイロットプラントでのフィールド試験を国内製パン工場やブラジルで進めています。

タイ・インドネシア



大規模バイオエタノール生産で低炭素社会へ貢献



サッポロエンジニアリングは、ビール工場の発酵設備の建設技術を活かし、環境に配慮した技術開発を行っています。2008年（タイ）と2013年（インドネシア）には、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が進めるプロジェクトに参画し、現地の製糖工場に、日本企業としては最大規模のバイオエタノールプラントを建設しました。

好調な販売を続けるエビスビール。2014年の戦略は？

2013年は、夏場、年末などの需要期における広告・販促の強化が功を奏し、エビスブランド全体で3年ぶりに前年実績を上回りました。2014年は、発売以来100年以上続くプレミアムブランドとして、エビス独自の価値である「コク」と「歴史」を訴求し、「プレミアム価値No.1」を目指していきます。



サッポロビール
ブランド戦略部
エビスブランドグループリーダー
新出 浩士

また、高価格ビールカテゴリーのさらなる成長が予想される中、中元ギフト専用商品として「エビス 夏のコク」を発売、さらに新たなコクを提案する商品として、コンビニエンスストア限定商品「エビス ロイヤル セレクション」を5月20日に発売を予定しています。「YEBISU BAR」の出店も強化するなど、家庭用・業務用・ギフトそれぞれの市場で勝ち抜き、日本を代表するプレミアムビールとして堂々と戦っていきます。



中元ギフト限定発売「エビス 夏のコク」

「サッポロ 極ZERO(ゴクゼロ)」 リニューアル発売

原料と香り成分の配合を見直すことで、ますますおいしくブラッシュアップ。うまみはそのままにさらにすっきりした味、より自然な香りに仕上げました。好評のパッケージデザインは、中心部を鮮やかな青にすることでより爽快感をアップさせ、お客様の商品認知向上を目指します。

「サッポロ 極ZERO」だけがもつ世界初「プリン体0.00※1」と「糖質0※2」2つのゼロを実現しつつ、ゴクゴク飲める爽快なのどごしに一層磨きをかけ、さらに多くの方々へ共感いただける商品として、もっと楽しく、より豊かな生活に貢献します。



2つのゼロに加え、ナトリウムもゼロを達成しました。さらに美味しくなった極ZEROをお楽しみください。



サッポロビール
新価値開発部
鬼村 真由子

※1 アルコール入りビールテイスト飲料において世界で初めて100ml当たりプリン体0.00mgを実現した商品です。(当社調べ)

※2 栄養表示基準に基づき、100ml当たり糖質0.5g未満を「糖質0(ゼロ)」と表記しています。

ワイン・スピリッツ事業の売上げ好調

2013年のワイン・スピリッツ事業は前年比2ケタ増、3年連続売上増を達成しました。国産ワインでは、「ポリフェノールでおいしさアップ」などの機能系ワインに加え、国産ワインコンクールで数々の賞を受賞した「グランポレール」シリーズが好調に推移するなど、存在感のあるブランドが強さを発揮しました。一方、輸入ワインでは「イエローテイル」が前年比2割増の販売数量を達成し、売上に貢献しています。

スピリッツ事業では、モヒートブームを巻き起こした「バカルディ」製品が、洋酒・RTDともに好調で、大きく売上を伸ばしました。RTDでは、ノーベル製菓(株)と共同開発した「男梅サワー」が「しょっぱい旨さ」という新たなポジションを確立し、多くのお客様から支持をいただいています。さらに、和酒では、甲乙混和いも焼酎No.1ブランドに成長した「こくいも」と、「黒梅酒」「赤梅酒」が牽引して、3年連続売上増を達成、過去最高売上につながっています。

ワイン事業
前年比107.2%
達成!



スピリッツ事業
前年比115.5%
達成!



コラボ商品が続々登場!~サッポロのグループ力で商品開発しました~

男梅サワー 発売中



サッポロビール
スピリッツ戦略部
永井 敏文



ここがPoint!

ノーベル製菓(株)の男梅キャンデーの特長である「梅干し感」を忠実に再現することにこだわり、3年の歳月をかけて誕生させました。ポッカサッポロフード&ビバレッジから、業務用商品「男梅シロップ」も発売中です。

キレートレモンサワー 4/22発売



サッポロビール
スピリッツ戦略部
末田 朋大



ここがPoint!

ポッカサッポロフード&ビバレッジの「キレートレモン」ブランドの資産を活用した商品です。既存のRTDにはなかったレモン本来の果実感や酸味、元気感を提供し、規模の大きいレモン柑橘系RTD市場に新風を巻き起こします!

グリーンシャワー 4/14発売



ポッカサッポロフード&ビバレッジ
マーケティング本部
飲料ブランド戦略部
大楠 栄治



ここがPoint!

心やすらぐグリーンの香りが新しい未体験炭酸水です。サッポロビールが2010年に品種登録したホップ「フラノビューティ」の香りを再現した香料を使用し、こちよいいリラックス感を追求しました。



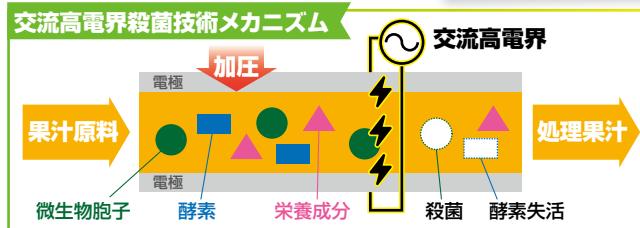
名古屋工場「第三工場」が竣工、稼働開始!

当社名古屋工場（愛知県北名古屋市）に新たに「第三工場」が竣工し、2014年1月より本格稼働しました。名古屋工場では50年近くレモン製品を製造していますが、今後は「第三工場」の最新鋭の設備で「ポッカレモン100」「キレートレモン」などのレモン製品や瓶入り炭酸飲料を製造していきます。



業界初!“交流高電界殺菌”技術を導入

この技術は、食品中を電気が流れることによる発熱作用と電気的な殺菌作用との相乗効果で、食品中の微生物を迅速かつ効率的に殺菌できる技術です。瞬時に食品の温度が上がるため、従来の加熱殺菌よりも食品が熱にさらされる時間を短くすることができます。当社では長年にわたってこの技術を研究、開発し、この「第三工場」の製造ラインに業界で初めて導入しました。同時に、この製造ラインではこれまで缶コーヒーの製造で採用してきた“脱酸素製法”も採り入れ、より鮮度にこだわった商品をお届けすることができるようになりました。



「ポッカレモン100」が大幅リニューアル



ロングセラーブランド「ポッカレモン100」が今春、装いも新たに登場です。No.1ブランドの安心感を残しながらロゴデザインを一新。また、すでにご愛用いただいているお客様にも初めて使用するお客様にもご満足いただけるよう、手に取りやすく、使い切りやすい120mlサイズを新たに展開します。

2月24日より
全国で
リニューアル発売。



「ポッカレモン100」

左から、70ml、120ml、300ml、450ml

常温保存ができる

「ポッカレモン Lemotte (レモtte)」新発売!

家庭外でもレモン果汁をおいしく味わっていただける「ポッカレモン Lemotte (レモtte)」を2月24日に新発売しました。レモン果汁10%で保存料が入っているので、オフィスや外出先、屋外に持ち出せて、手軽にレモンを使っていただけます。



割烹料理をカジュアルに楽しむ新業態 「割烹バル 八寸」を銀座にオープン



「割烹バル 八寸」では、職人が素材や器にもこだわった逸品を揃えています。

店名の「八寸」とは、宴席にて亭主とお客様が一期一会の機会を得た喜びを込めて盃を交わす際に提供される一皿のこと。私たちもお客様との一期一会の出会いを大切にまいります。



サッポロライオン 八寸銀座コリドー街店
調理長 松野 貴浩 店長 中山 善和

ビヤホールライオン狸小路店 開店100年、 ビヤホールライオン銀座七丁目店 創建80年 ～サッポロライオンオリジナル記念ビールを販売～

「ビヤホールライオン狸小路店」(札幌市)は、本年5月で開店100年を迎えます。また、“現存する最古のビヤホール”とも言われる「ビヤホールライオン銀座七丁目店」(東京都中央区)は、本年4月で創建80年を迎えます。

サッポロライオンでは、これを記念してオリジナル記念ビールを販売します。詳細はホームページをご覧ください。



狸小路店



銀座七丁目店

<http://www.ginzalion.jp/>

恵比寿ガーデンプレイスが20周年を迎えます

複合開発のパイオニアとして誕生した恵比寿ガーデンプレイスが、今年開業20年を迎えます。20周年プログラムとしてシーズンごとのさまざまなイベントが予定されているほか、これから約3年間をかけて大規模なリニューアルが行われ、恵比寿ガーデンプレイス発の新たな価値を発信していきます。

非常用発電設備の増設等、新築ビル並みのスペックを用意するほか、地域を巻き込んだ防災訓練の実施など、さらなる安全・安心な街づくりも推進していきます。



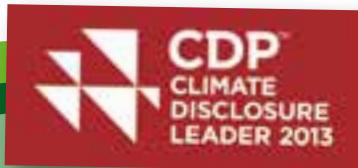
サッポロ不動産開発
恵比寿事業本部 企画部 部長
井上 俊浩

YEBISU GARDEN PLACE 20th Anniversary



CDPランキング

サッポロホールディングスは、国際環境 NGO「CDP」が 2013 年に実施した温室効果ガスの排出量や気候変動への戦略に関する調査である「CDP Investors」で、気候変動に影響を与える環境情報の開示先進企業を意味する「クライメート・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス」に、食品業界で唯一、2 年連続で選定されました。サッポログループはこれからも、積極的な環境保全の取り組みと情報開示を継続します。



国連グローバル・コンパクトに参加

サッポロホールディングスは、CSRに関する国連と企業の協力の枠組み「国連グローバル・コンパクト」に参加しました。「国連グローバル・コンパクト」は「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野にわたる10の原則を掲げており、サッポログループはそれらを支持し、持続可能な社会の実現に向け、責任ある企業活動を続けていきます。



CSR レポート発行のお知らせ

サッポログループの2013年のCSR活動をご紹介します「サッポログループCSRレポート2014」は4月中旬にサッポロホールディングスホームページに掲載する予定です。冊子版をご希望の株主様は、外部サイト「エコほっとライン」からお申し込みください。(4月中旬以降発送の予定です。)



詳細はこちら ▶▶▶

サッポロ CSR



このページに記載された事項に関するお問い合わせは下記までお願いします。
サッポログループマネジメント株式会社 グループCSR部 03-5423-7211

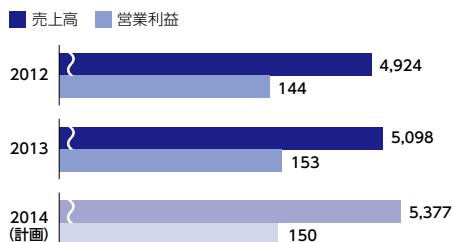
(単位：億円)

2013年度 セグメント別売上高構成比

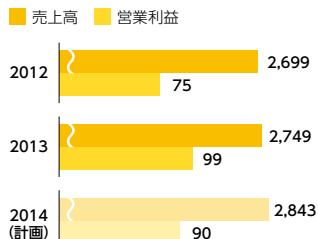


※当冊子の表記について：収益関連数値については、期初からの「累計値」を用いています。

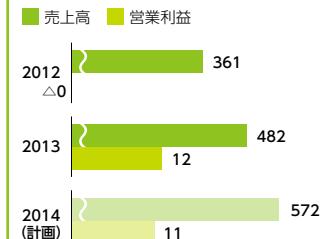
国内酒類事業	2,749 億円 (53.9%)
国際事業	482 億円 (9.5%)
食品・飲料事業	1,306 億円 (25.6%)
外食事業	268 億円 (5.3%)
不動産事業	227 億円 (4.5%)
その他事業	64 億円 (1.3%)



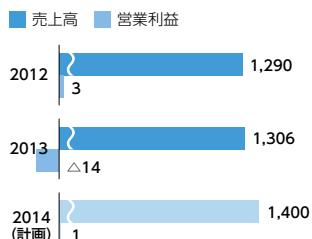
国内酒類事業



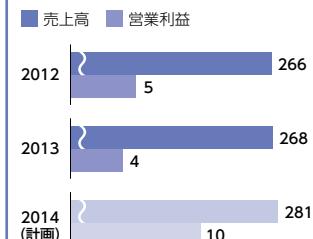
国際事業



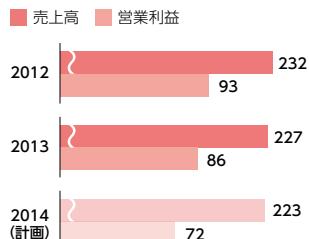
食品・飲料事業



外食事業

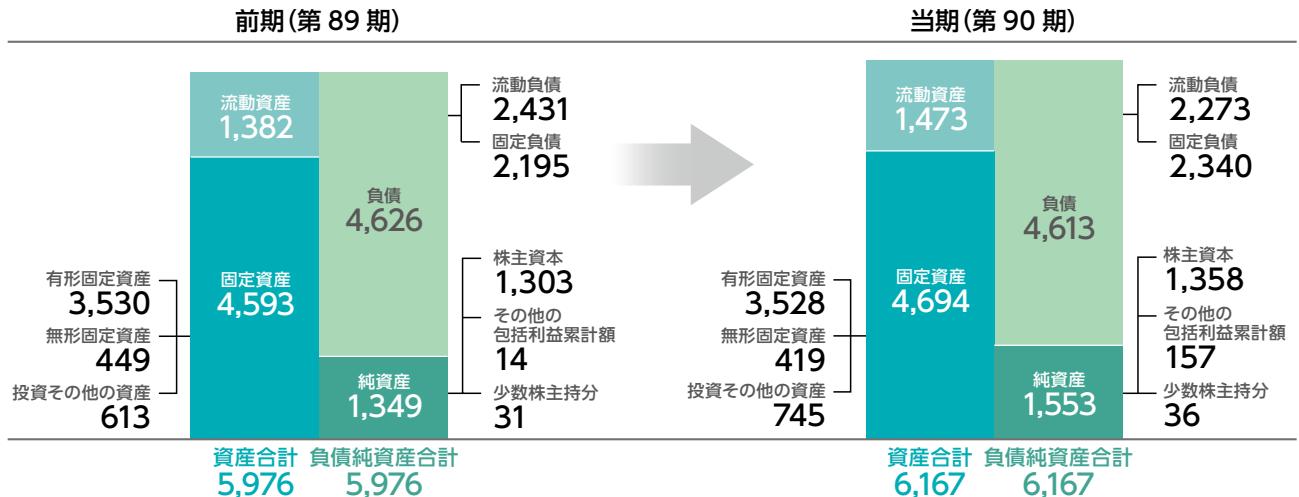


不動産事業



※ 2013 年度から、従来「国内酒類事業」に区分しておりました「サッポロ流通システム(株)」および従来「食品・飲料事業」に区分しておりました「(株)ポッカロジスティクス」を「その他」に変更しています。
また、従来「食品・飲料事業」に区分しておりました「POKKA FOOD(SINGAPORE)PTE. LTD.」を「外食事業」に変更しています。
※ 2012 年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。
※ 国際事業の営業利益には、ベトナム市場構築のための先行費用が織り込まれています。

■ 連結貸借対照表の概要 12月31日現在 (単位:億円)



資産について

☑ のれんの償却による無形固定資産の減少等があった一方、受取手形及び売掛金、投資有価証券の増加等によって、前期末と比較して191億円増加し、6,167億円となりました。

負債について

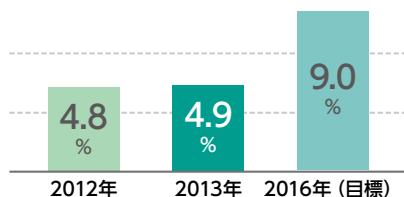
☑ 短期借入金の増加等があった一方、コマーシャル・ペーパーの減少等によって、前期末と比較して13億円減少し、4,613億円となりました。

純資産について

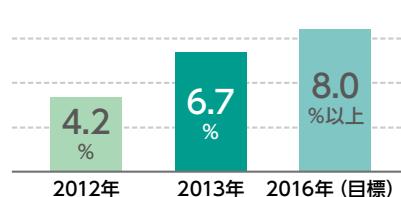
☑ その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加、当期純利益の計上等によって、前期末と比較して204億円増加し、1,553億円となりました。

■ サッポログループ新経営構想における経営指標 *1 ROE:自己資本利益率 *2 D/Eレシオ:負債資本倍率

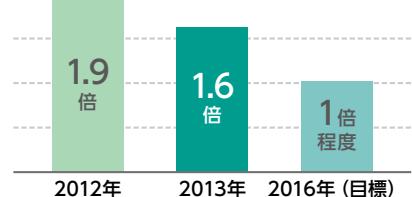
営業利益率(のれん償却前・酒税抜き)



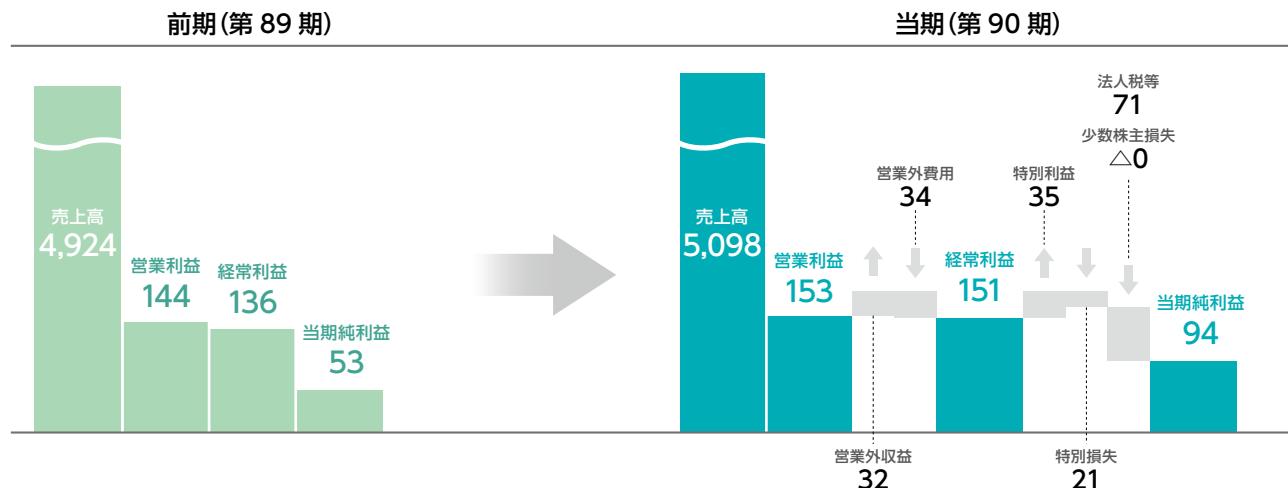
ROE*1



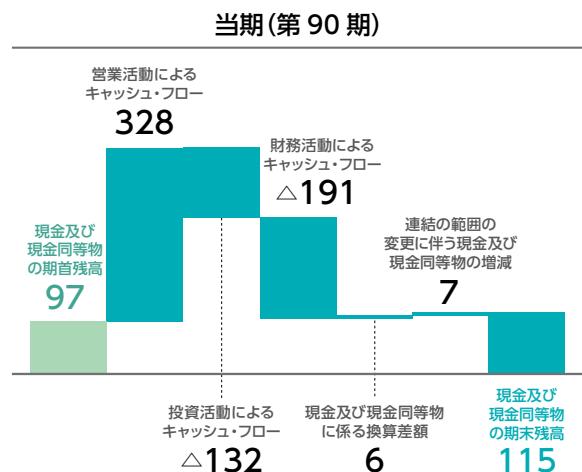
D/Eレシオ*2



Ⅰ 連結損益計算書の概要 1月1日～12月31日 (単位:億円)



Ⅱ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 1月1日～12月31日 (単位:億円)



売上高・営業利益

☑ 売上高は、国内酒類事業でビール類の売上数量が前期を上回ったことや、国際事業での売上数量が引き続き伸ばしたことに加え、円安の影響もあり、増収となりました。

営業利益は、不動産事業の減益や食品・飲料事業での統合に伴うコスト増による減益はあったものの、国内酒類事業や国際事業での増収等の要因から増益となりました。

キャッシュ・フロー

☑ 営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費等の増加要因により、328億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、132億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの純減等により、191億円の支出となりました。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

サッポロ IR

検索

会社概要

(平成 25 年 12 月 31 日現在)

商 号	サッポロホールディングス株式会社 SAPPORO HOLDINGS LIMITED
設 立	1949 年 9 月 1 日 (創業明治 9 年)
資 本 金	53,886,649,941 円
事 業 内 容	持株会社
連結対象会社数	54 社 (連結子会社 51 社、持分法適用会社 3 社)
従 業 員 数	66 名 (グループ従業員数: 7,434 名)
本 社	〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 1 号 (恵比寿ガーデンプレイス内)
電 話	03-6859-2303 (経営戦略部)

役員

(平成 26 年 3 月 28 日現在)

代表取締役社長兼 グループ CEO	上條 努	
代表取締役専務	田中 秀典	
常務取締役兼 グループ執行役員	加藤 容一	サッポログループマネジメント株式会社 代表取締役社長
取 締 役	渡 淳二	
取 締 役	溝上 俊男	
取締役兼グループ執行役員	尾賀 真城	サッポロビール株式会社 代表取締役社長
取締役兼グループ執行役員	岩田 義浩	サッポロインターナショナル株式会社 代表取締役社長
取 締 役 (社 外)	田中 宏	株式会社クレハ 相談役
取 締 役 (社 外)	服部 重彦	株式会社島津製作所 代表取締役会長 田辺三菱製薬株式会社 社外取締役 プラザ工業株式会社 社外取締役 明治安田生命保険相互会社 社外取締役
取 締 役 (社 外)	池田 輝彦	花王株式会社 社外取締役 株式会社エフエム東京 社外監査役
常 勤 監 査 役	山田 良一	
監 査 役	飯田 啓二	
監 査 役 (社 外)	佐藤 順哉	弁護士 株式会社ニッキ 社外取締役 生化学工業株式会社 社外監査役 三井金属鉱業株式会社 社外監査役
監 査 役 (社 外)	杉江 和男	DIC株式会社 取締役会長 株式会社ルネサンス 取締役
グループ執行役員	國廣 喜和武	ポッカサッポロフード&ビレッジ株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	刀根 義明	株式会社サッポロライオン 代表取締役社長
グループ執行役員	生駒 俊行	サッポロ不動産開発株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	平町 聡	

株式の状況

(平成 25 年 12 月 31 日現在)

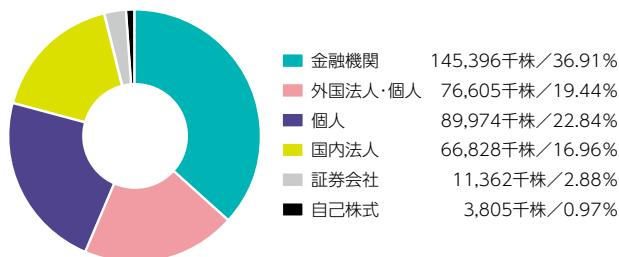
発行済株式総数……393,971,493 株
株主数………60,077 名

大株主 (上位 10 名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	18,695	4.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	14,447	3.70
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	12,212	3.13
日本生命保険相互会社	11,732	3.01
明治安田生命保険相互会社	10,434	2.67
農林中央金庫	9,375	2.40
株式会社みずほ銀行	9,032	2.32
丸紅株式会社	8,246	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	7,970	2.04
大成建設株式会社	7,000	1.79

※上記大株主の状況は株主名簿によっています。また、持株比率は自己株式(3,805,058株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
配当金受領の株主確定日	12月31日及び中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(第一部)、札幌
証券コード	2501
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (フリーダイヤル) 0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・祝休日を除く 9:00 ~ 17:00) 専用ホームページ“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ http://www.sapporoholdings.jp/ といたします。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
特別口座	特別口座とは、株券電子化前に証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が上記のみずほ信託銀行株式会社に開設した口座のことをいいます。

ホームページのご案内

<http://www.sapporoholdings.jp/>

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますので、是非ご利用ください。

また、当ホームページから各事業会社のホームページサイトへ入ることができます。



株式事務に関するご案内

証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

お手続きお問い合わせ先	<p><特別口座の口座管理機関> 左記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部) <取次所> みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。</p> <p>みずほ証券株式会社 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) ※カスタマープラザでは、お取扱できませんのでご了承ください。</p>
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での留意事項	<p>特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きが必要となります。</p> <p>※単元未満株式の買取・買増請求は特別口座のままでも可能です。詳しくは、左記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部)にお問い合わせください。</p>

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様ともに上記の取次所が承ります。

※未払配当金のお支払いのうち、配当金領収証でのお受け取りにつきましては、上記取次所に加え、株式会社みずほ銀行の本店でも承ります。

第90回定時株主総会 決議ご通知

平成26年3月28日開催の当社第90回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

記

- 第90期(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第90期(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記につき、各内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当は1株につき7円と決定いたしました。

第2号議案 取締役10名選任の件

本件は原案のとおり、取締役を上條努、田中秀典、加藤容一、尾賀真城、田中宏、服部重彦、池田輝彦の7氏が再選され、新たに渡淳二、溝上俊男、岩田義浩の

3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、田中宏、服部重彦、池田輝彦の3氏は、社外取締役であります。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり、補欠監査役に矢田次男氏が選任されました。
なお、同氏は社外監査役の補欠監査役として選任されております。

第4号議案 当社株券等の大規模買付行為への対応方針承認の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

以上

第90回定時株主総会における議決権行使結果について

決議事項に対する、賛成、反対の意思表示に係る議決権の数、結果等については当社ウェブサイト(<http://www.sapporoholdings.jp/>)をご覧ください。

「サッポロ 麦とホップ The gold」、デビュー

CM
of SAPPORO
サッポロ 麦とホップ
The gold



2014年2月4日に発売した「サッポロ 麦とホップ The gold」。新CMキャラクターに浅野忠信さんと岡田准一さんを“ゴールデンコンビ”として起用。新たに採用した素材「リッチゴールド麦芽※1」と「ゴールデンアロマホップ※2」が織りなす「輝くコク。」のうまさ、ゴールデンコンビが独特のアクションとともに

ゴールド一面の世界で表現しています。さらにおいしく進化した「サッポロ 麦とホップ The gold」をぜひ、お試しください!



※1 リッチゴールド麦芽：大麦中の窒素(タンパク質)成分を比較したうまみ成分の多い麦芽。

※2 ゴールデンアロマホップ：ホップのα酸含有量が高いドイツ産のアロマホップ。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)